



# 世界冬の都市

市長会広報誌

World Winter Cities Association for Mayors

2011年11月発行

〈世界冬の都市市長会事務局〉 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市総務局国際部内 TEL011-211-2032 FAX011-218-5168  
e-mail:wwcam@city.sapporo.jp URL:http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/

## 2012年ウランバートル市長会議に向けて ～2011年世界冬の都市市長会実務者会議実施報告～

札幌市において、2011年7月29日と30日の2日間開催された世界冬の都市市長会実務者会議に、世界各地の7か国14都市及び5団体から41名が参加しました。議題の中心は、2012年1月にモンゴルのウランバートル市で開催される第15回市長会議の開催計画に関する協議とその併設イベントである「冬の見本市」に関する協議で、同市から詳細についてプレゼンテーションが行われました。

第15回市長会議のメインテーマは、「冬の都市におけるエネルギー供給と熱の効率的な利用」です。近年、急速に都市化が進んでいるウランバートル市が抱える熱供給問題や大気汚染問題という課題の解決に向けた議論を行う予定です。エネルギー問題は、今、世界的にも注目度の高いトピックです。会員都市の皆様はもちろん、関心のある皆様方の積極的な参加を心よりお待ちしております。参加方法などの詳細につきましては、世界冬

の都市市長会事務局までお問い合わせください。



モンゴルの玄関口チングス・ハーン国際空港

- 1 会 期:7月29日(金)及び30日(土)
- 2 会 場:札幌全日空ホテル(札幌市)
- 3 参加者

(1) 会員都市:7か国11都市/27人

長春、ハルビン、チチハル、瀋陽(以上、中国)、マールドゥ(エストニア)、札幌(日本)、ウランバートル(モンゴル)、トロムソ(ノルウェー)、華川、太白(以上、韓国)、アンカレッジ(アメリカ)

(2) オブザーバー参加:3都市及び5団体/14人

国連大学准教授アキレシュ・スルジャン氏、石狩市、滝川市、千歳市など

#### 4 会議内容

- (1) 次回市長会議の実施案に関する協議(2012年1月にモンゴル・ウランバートル市で開催)
- (2) 冬の見本市に関する協議(2012年1月にモンゴル・ウランバートル市で開催)
- (3) 活性化事業について(韓国・華川郡の取り組みを発表)
- (4) 世界冬の都市市長会のあり方について
- (5) 世界冬の都市市長会の運営に関する協議



第15回市長会議  
開催計画案を発表する  
ウランバートル市の  
アマルサナー国際部長



記念撮影(会員都市の会議参加者)

## 活性化事業報告

2010年ウランバートル実務者会議で承認された韓国・華川(ファクション)郡の「世界冬の都市市長会PRプロジェクト」について、現在までの活動報告と今後のプランについて発表が行われました。

華川郡のPRプロジェクトは2011年1月から2月にかけて実施され、会員都市から提供を受けた伝統衣装、人形、工芸品、ポスター、パンフレットなどを特設の「世界冬の都市市長会PRゾーン」に展示しました。さらに、2011年1月15日には、華川郡で「世界冬の都市シンポジウム」を開催し、中国のハルビン、モンゴルのウランバートルなど世界冬の都市市長会会員都市やカナダのケベックなど会員都市以外を含む7都市20名の参加のもと、祭りが地域経済にもたらす効果などについて議論しました。

本プロジェクトは、2014年まで継続して実施され、毎年1月に開催されるヤマメ祭り期間中には会場にPRゾーンを設置し、それ以外の期間については、場所を変えて会員都市から提供された工芸品やポスターなどを通年で展示します。次回はより多くの会員都市の参加を期待しています。



活性化事業の報告を行う  
華川郡のイ・ヒョンスク自治行政課長



世界冬の都市市長会PRゾーンの展示



世界冬の都市シンポジウムの様子

## 環境保全小委員会

実務者会議に併せて環境保全小委員会が開催され、事務局都市である中国・長春市より、①冬期の都市部大気中の微粒子物質の発生原因に関する調査、②融雪剤による環境への被害緩和に関する研究、について報告が行われました。発表の主な内容は、下記のとおりです。

- ほこり原因物質のサンプリング調査の結果、長春市におけるほこりの原因物質と汚染物の特徴が分かった。
- 融雪剤による環境への被害軽減を目的として、従来の融雪剤の使用状況、環境への影響を調査し、地下水や土壌に含まれる成分について測定を実施した。その結果、融雪剤の使用により土壌の物理化学的特質(塩分含有量など)に変化が見られたほか、植物の生育への悪影響、地下水汚染、アスファルトの耐久性低下が見られた。
- 今後もこれらのプロジェクトを継続していく。具体的には、大気中の微粒子物質については年間を通して様々な時期に調査を実施し、影響要因を分析、GIS(地理情報システム)を利用した解析・管理システムを構築する。融雪剤による環境への被害軽減については、市周辺の河川、地下水の水質モニタリング調査と各種融雪剤の使用試験を実施し、環境にやさしく、費用対効果の高い新規融雪剤の研究開発を行う。



小委員会でプレゼンを行う  
長春市環境保護局の閻文局長



## 国連大学スルジャン准教授の講演

実務者会議に併せて、「国連大学」准教授のアキレシュ・スルジャン氏より、「都市と地球環境問題：リスクと回復力」をテーマに講演をいただきました。世界の都市化が進んでおり、世界の都市の50%が地震、土砂災害、熱帯サイクロンなどの影響を受ける可能性のある地域に位置していることから、都市が抱えるリスクに注目する必要がある、など示唆に富んだ講演でした。スルジャン氏の講演の主な内容は、下記のとおりです。

- 世界各国で都市化が進んでおり、1800年には2%であった都市化の割合が、国連の推定では2030年には61%になるとされている。2015年までに世界の22の都市で人口が1千万人を超えると予測されている。さらに世界の都市の50%が地震、土砂災害、熱帯サイクロンなどの影響を受ける可能性のある地域に位置していることから、このような様々な問題に対処するため都市リスクに注目する必要がある。
- 気候変動に関しては、人間の日常生活に関連して排出される温室効果ガスの量が現状のままであれば、2100年には気温が3度、海面が60cm上昇すると推定されている。
- 温室効果ガスについては、将来、生活関連の排出量を60%軽減しなければ、これを現在のレベルに維持することはできなくなる。地球温暖化により、雨季と乾季が顕著になり、土砂災害、淡水資源の減少、風土病など様々なリスクが起きる。
- 都市化は、生活水準の低さや雇用の場がないこと等、政治、経済、社会的理由を背景に地方から都市に人口が流入することにより起こっている。例えば、インドでは人口の30%が都市部に住んでおり、この30%が国の経済の60%以上を担っている。都市化を考える際は、都市という観点からだけではなく、地域全体の問題として検討する必要がある。



国連大学アキレシュ・スルジャン准教授の講演

スルジャン氏の講演に続き、東日本大震災に伴う札幌市の災害対応について、札幌市危機管理対策室及び消防局より報告がありました。

## 関連イベント紹介

世界冬の都市市長会では、今回の実務者会議の開催に併せて、会員都市や世界冬の都市市長会の活動を紹介するイベントを開催しました。



パネル展会場

### ① 世界冬の都市市長会パネル展

7月25日から29日までの5日間、札幌駅前通地下歩行空間においてパネル展を開催しました。この総延長約520mの地下歩行空間は、札幌市中心部に今年3月オープンしたもので、毎日多くの人々が利用しています。

### ② 冬の都市フェスタ

7月30日、札幌市役所のロビーにおいて会員都市の方々に、映像を交えてそれぞれの都市の紹介をしていただきました。



冬の都市フェスタの様子

## ◆ウランバートル市長会議開催概要◆

- 1 日程：2012年1月13日(金)～15日(日)
- 2 会場：ウランバートルホテル(モンゴル・ウランバートル市)
- 3 メインテーマ：冬の都市におけるエネルギー供給と熱の効率的な利用

サブテーマ：①電気エネルギーの効率的な利用  
②熱エネルギーの効率的な利用  
③大気汚染

### 4 市長会議開催プログラム (一部変更となる場合があります)

日程	プログラム
1月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式、総会、2016年第17回市長会議開催立候補都市のプレゼンテーション、2016年第17回市長会議開催都市選考</li> <li>・市長会議① (熱エネルギーの効率的な利用)</li> <li>・市長会議②(電力の効率的な利用)</li> <li>・ウランバートル市長主催オープニングレセプション</li> </ul>
1月14日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の見本市開会式、基調講演</li> <li>・「環境保全小委員会」(事務局:中国・長春市)報告</li> <li>・市長会議③ (冬の都市における大気汚染と対策)</li> <li>・全体会議、閉会式</li> <li>・世界冬の都市市長会会長主催レセプション</li> </ul>
1月15日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内視察、フェアウェルディナー</li> </ul>

- 5 その他：  
会員都市以外の方もオブザーバーとして会議を傍聴することができます。オブザーバー参加の方法など詳細につきましては、世界冬の都市市長会事務局へお問い合わせください。

## ❄️ 冬の見本市開催概要 ❄️

冬や雪に関連する機材や製品の展示、及び様々な技術の紹介を行います。

- 1 日程：2012年1月14日(土)～15日(日)
- 2 会場：ウランバートル市  
ビジネス・デベロップメント・センター
- 3 展示内容：展示品については特に制限はなく、どんなものでも展示可能。
- 4 その他：会員都市以外の方も見本市を見たり、出展することができます。参加方法など詳細につきましては、世界冬の都市市長会事務局へお問い合わせください。

## ウランバートル市の紹介

モンゴル国の首都ウランバートルは、同国の政治、経済、文化の中心地です。

ウランバートル市はトゥール川、ウリアスタイ川、セルベ川の沿岸に位置し、ボグド山、ソングノ山、チングルテイ山、バヤズルフ山の美しい丘陵地帯に囲まれた海拔1350メートルの土地にあります。その人口は2011年末に130万人に達する見込みで、モンゴルの総人口のほぼ半分がウランバートルで生活しています。

今日、モンゴルのGDP(国内総生産)の4割がウランバートルで生み出されています。工業生産の53.4パーセント、建設の87.1パーセント、貿易の56.3パーセント、エネルギーの80パーセント、そして交通・通信の98パーセントをウランバートルが占めています。

散在する永久凍土地帯の上に都市があり、世界で最も気温の低い首都として有名です。一般的に冬は長く乾燥しており、夏は短く雨が降ります。

現在、ウランバートルは世界11都市と姉妹都市提携を結んでいるほか、24都市と友好関係を18都市と親善関係を結んでいます。国際機関にも加盟しており、世界冬の都市市長会には1998年から参加しています。同会の第15回世界冬の都市市長会議は2012年にウランバートルで開催されます。皆様のお越しを心からお待ちしています。



ウランバートル市内の風景



ウランバートルのスファートル広場の夜景